

平成28年11月



にじいろ 虹色

平成28年度

秋田県読書フェスタ

秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

TEL : 018-865-1171

FAX : 018-824-1799

e-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp

編集 : 社会教育アドバイザー

10月22日(土)～11月3日(木)



読書は、私たちが人生を豊かに生きるうえで欠かせない大切なものです。読書の楽しさを伝えるために積極的に活動している人たちとともに、広く県民に読書に関心をもってもらおうと、県内各地で「秋田県読書フェスタ」が開催されました。期間中に当センターや児童会館・秋田市立中央図書館明德館で行われたイベントを紹介します。

おはなし会

秋田市立中央図書館明德館では、秋田県読書フェスタの一環として10月上旬から11月上旬までの各土曜日に5回、ボランティアによる「おはなし会」が実施されました。多くの幼児・児童が絵本や紙芝居に目を輝かせて聞き入る姿が印象的でした。



読書絵はがきコンクール

10月24日(月)から11月6日(日)の間、県児童会館内で「読書絵はがきコンクール」に全県から応募いただいた722作品、全作品が展示されました。



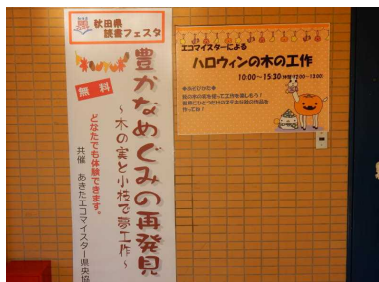
館内展示の様子



優秀作品の展示コーナー

豊かなめぐみの再発見～木の実と小枝の夢工房～

10月30日(日)秋田県児童会館音楽室で、木の実や小枝、落ち葉を使ってしおりやブックスタンドを制作する催しが行われ、ハロウィンの仮装をした子どもたちや保護者351名が参加しました。当日は10:00～15:00の間、来室された親子に随時制作してもらう形をとりました。参加した子どもたちは、保護者やエコマイスターの手を借りながら、夢中になってオリジナルのしおり等を作成し、満面の笑みを浮かべていました。



あきたスマートカレッジ〔特別企画〕「石川啄木 渋谷村から函館、札幌、小樽、釧路」



石川啄木



講演中の北条常久 S C

肺結核で、わずか26歳の若さで亡くなった歌人石川啄木の波乱の生涯を、北海道での転居の軌跡によってたどる講演会が、10月20日(木)県生涯学習センター・北条常久 S C (シニアコーディネーター)を講師に、開催されました。

北条 S C は、冒頭に前回の講演『小林多喜二 秋田の農村と小樽』と関連させて、多喜二が恋していた田口タキに暗唱するよう示した94首の啄木の短歌を手がかりに、講演を始めました。啄木は「石もて追われるごとく」故郷渋谷村を去り、明治40年5月、松岡蔭堂等の友人たちを頼り函館に渡り、新聞記者としての生活を始めました。しかし、函館大火で職場を失ってしまいます。4ヶ月余りの函館での生活を終え、札幌に移り、「北門新報」の校正係で採用されましたが、事情によりわずか2週間で小樽に移転します。小樽で、啄木は「小樽日報」の三面を担当しますが、社内の内紛のため、当時鉄道の終着駅で、最果ての地であった釧路へ転居しました。「釧路新聞」では三面編集主任として幅広い執筆で業績をあげました。しかし、啄木は入社歓迎会で花柳界を知り、料亭を頻繁に訪れるようになりました。特に「鷗寅」の小奴となじみとなり、「小奴といひし女の／やはらかき／耳朶なども忘れがたかりし」の歌まで詠んでいます。ようやく生活が安定しかけた啄木ですが、東京で創作活動に専念する気持ちを抑えきれず、とうとう上京を決断します。こうして1年あまりの啄木の北海道生活は終わりをつげました。北条 S C は、小林多喜二も生涯12首の短歌を残していますが、啄木の作品の影響が色濃く残っていると指摘しました。

受講者からは、「啄木と多喜二の関係を初めて知りました」「啄木の人間性まで踏み込んだ話で、大変楽しく学ばせてもらった」等の意見が寄せられました。

行動人

《学んだことを生かして行動する人》

秋田には、学んだことを生かした行動で、地域や周囲の人々を元気にしている人たちが大勢います。



制作中の白鳥祐美子さん

ガラスエングレービングの技法で作品づくりを続けている、**白鳥祐美子さん**にお話を伺いました。素材にする写真の上にガラス板を載せ、歯科技工用のミニルーターでなぞりながら線を彫り込みます。また、最近ではサンドブラストも導入し、新たなガラス彫刻の世界を開拓しておられます。

10月4日から11月11日まで、生涯学習センター玄関ホールを会場に、白鳥さんの作品展「絆を刻むガラスの世界」を開催しました。多くの人たちの幸せや思い出を形に遺すお手伝いをしたいとの白鳥さんの思いを反映し、家族や親子の笑顔を描いた作品など26点を展示紹介しました。

さて、白鳥さんのガラスエングレービングは、写真だけが素材ではありません。お子さんが描いた絵やイラストも原画があればガラス板に彫刻できます。

11月2日(水)には、白鳥さん指導によるワークショップを玄関ホールで開催し、大変好評でした。



白鳥さんの作品